

子育て情報誌作製

駿豆地区の協議会

相談機関を紹介

センター、子育て支援センターなどで無料配布する。

情報誌はA4判全48ページ。保育、教育、福祉、医療など、子育てに関わる分野の官民の相談機関の基本情報を掲載している。開所日や電話番号のほか、「赤ちゃん連れでも安心」「交流の場としても利用可能」などとPR文章も添えた。

製作を担当したのは、同協議会の子育て支援部会。松本昭代部会長は「障害の有無にかかわらず、『子育ての悩みをどこに相談しているか分からない』という保護者の声をよく聞く」と話し、活用を呼び掛けている。

社会福祉法人、行政、障害者の保護者などでつくる「駿豆地区障がい者自立支援協議会」（芹沢幸雄会長）はこのほど、地区の子育ての相談機関などを紹介する情報誌「地域子育て支援MAP」を600部作製した。

該当エリアは三島、裾野、伊豆の国市と長泉、函南、清水町。2月上旬から3市3町の福祉担当課窓口、保健



幅広い分野の支援機関を掲載した情報誌と、情報誌を紹介するパンフレット＝長泉町

静岡新聞
2015-2-3